

医薬品情報セミナー

責 任 者・コーディネター		臨床薬学講座情報薬科学分野 西谷 直之 教授	
担当講座・学科(分野)		臨床薬学講座（情報薬科学分野、地域医療薬学分野）	
対象学年	5	区分・時間数 (1コマ2時間換算)	講義 20時間（10コマ）
期 間	後期		
単 位 数	1単位		

・学修方針（講義概要等）

医薬品情報セミナーは、5 学年までに学習した薬物治療や医薬品情報の知識をより深く理解するとともに、新薬承認状況と創薬トレンドを把握する実践的能力を形成する。また、科学的根拠に基づく医療を実践する医療従事者として、最新の情報を得る必要性について理解を深める。

・教育成果（アウトカム）

医薬品添付文書やインタビューフォームなどの医薬品情報を活用し、近年製造販売承認を取得した新薬を中心に創薬の傾向を理解することを通して、薬物治療の薬学的管理への基盤と生涯学習の意欲が形成される。（ディプロマ・ポリシー：2, 4, 9）

・到達目標（SBO）

1. 薬理学系の薬学専門科目の SBOs（技能・態度に関する SBOs は除く）
2. 病態・薬物治療学系の薬学専門科目の SBOs（技能・態度に関する SBOs は除く）

・ 講義日程

(矢) 東 202 2-B 講義室、西 201 2-A 講義室

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
1/27	火	1・2	情報薬科学分野	西谷 直之 教授	新薬情報アップデート 1. 代表的な疾患に用いる薬剤の薬理と薬物治療について説明できる。 事前学修：指定疾患の病態と薬物治療について予習しておく。 事後学修：講義を振り返り、指定薬剤についてまとめる。
1/29	木	1・2	地域医療薬学分野	松浦 誠 特任教授	新薬情報アップデート 1. 代表的な疾患に用いる薬剤の薬理と薬物治療について説明できる。 事前学修：指定疾患の病態と薬物治療について予習しておく。 事後学修：講義を振り返り、指定薬剤についてまとめる。
2/3	火	1・2	情報薬科学分野	西谷 直之 教授	新薬情報アップデート 1. 代表的な疾患に用いる薬剤の薬理と薬物治療について説明できる。 事前学修：指定疾患の病態と薬物治療について予習しておく。 事後学修：講義を振り返り、指定薬剤についてまとめる。
2/5	木	1・2	地域医療薬学分野	松浦 誠 特任教授	新薬情報アップデート 1. 代表的な疾患に用いる薬剤の薬理と薬物治療について説明できる。 事前学修：指定疾患の病態と薬物治療について予習しておく。 事後学修：講義を振り返り、指定薬剤についてまとめる。
2/10	火	1・2	情報薬科学分野	西谷 直之 教授	新薬情報アップデート 1. 代表的な疾患に用いる薬剤の薬理と薬物治療について説明できる。 事前学修：指定疾患の病態と薬物治療について予習しておく。 事後学修：講義を振り返り、指定薬剤についてまとめる。
2/12	木	3・4	情報薬科学分野	西谷 直之 教授 松浦 誠 特任教授	定期試験（指定課題演習） 1. 代表的な疾患に用いる薬剤の薬理と薬物治療について説明できる。 事前学修：すべての講義を振り返り、まとめのノートを作成しておく。

					事後学修：試験を振り返り、指定薬剤についてまとめる。
--	--	--	--	--	----------------------------

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	今日の治療薬	島田 和幸 [ほか] 編集	南江堂	
参	病気がみえる vol.1～10	医療情報科学研究所 編	メディックメディア	
参	薬がみえる vol.1～3	医療情報科学研究所 編	メディックメディア	
参	処方がわかる医療薬理学 2024-2025	中原 保裕	Gakken	2024

・成績評価方法

定期試験（MCQ 90%、ノート 10%）

・特記事項・その他

5 学年までに学習した薬物治療や医薬品情報関連科目を復習し事前学修とすること。必要に応じて、次回講義に用いる医薬品情報を予め収集しておく。予習すべき内容の詳細は、次回の講義までに指示する。事前学修には、30 分を要する。事後学修には、60 分を要する。試験前の準備に 10 時間を要する。定期試験には、まとめのノートを持ち込むことができるので、毎回の講義ごとにしっかりとまとめておくこと。また、成績判定のために、定期試験後にノートの提出が必要になる。フィードバックとして moodle に概況・解説等を掲載する。

当該科目に関連する実務経験の有無 有
岩手県内の総合病院における薬剤師の実務経験を有する教員が、講義内容に関連する実践的な教育を事例提示しながら行う。